

# ガイドレール

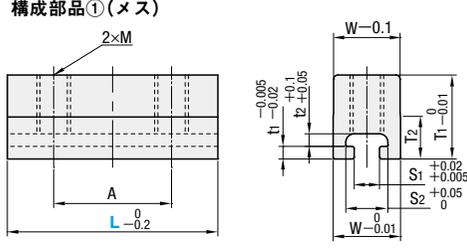
—蟻溝タイプ—

RoHS10

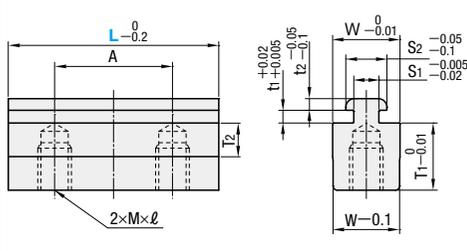


**GRAZS (構成部品①+②)**

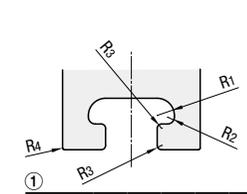
構成部品①(メス)



構成部品②(オス)



蟻溝部詳細



①

型式	No.	R1	R2	R3	R4
GRAZS	8	1.0	0.2	0.25	0.1
	12	1.5	0.2	0.25	0.1

②

型式	No.	r1	r2	r3	r4
GRAZS	8	1.0	0.25	0.2	0.1
	12	1.5	0.25	0.2	0.1

材質 SKD11 (58~60HRC)

型式		L	構成部品	W	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	T <sub>1</sub>	T <sub>2</sub>	t <sub>1</sub>	t <sub>2</sub>	A	M×ℓ
Type	No.											
GRAZS	8	25	①メス	8	3	5	10	5	1.5	1.5	14	4
			②オス	8	3	5	8	4	1.5	1.5	14	4×5
	12	30	①メス	12	4	7	12	7.5	2	2	18	6
			②オス	12	4	7	10	6	2	2	18	6×7

① T<sub>2</sub>はW有効範囲。

Order 注文例 **型式** - **L**  
GRAZS8 - 25

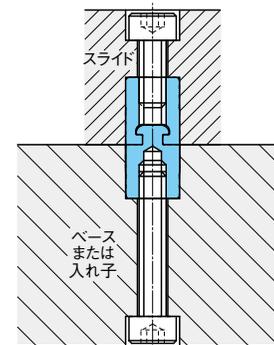
Delivery 出荷日 **在庫品**

■特長

- スライドコア横にガイドレールを設置しないため、スライド機構のコンパクト化・干渉対策が可能となります。
- スライドコアの内側に設置するため、ガイドレール構造と比較して熱膨張の影響が小さくなります。
- 横幅の広いスライドコアのカジリ防止に役立ちます。

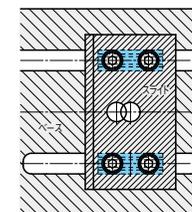
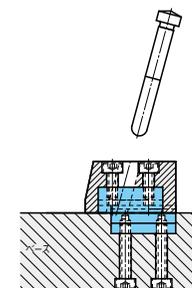
■取り付け方法

- ベース側、スライドコア側それぞれに取付ボルト用の座ぐり穴とレール本体設置用の溝を加工し、ボルトにて固定します。
- 溝寸法は、右図を参考にしてください。
- スライドコアの動きが渋い場合は、溝幅とレール幅Wのクリアランス、溝間ピッチ(平行度)を確認し調整してください。

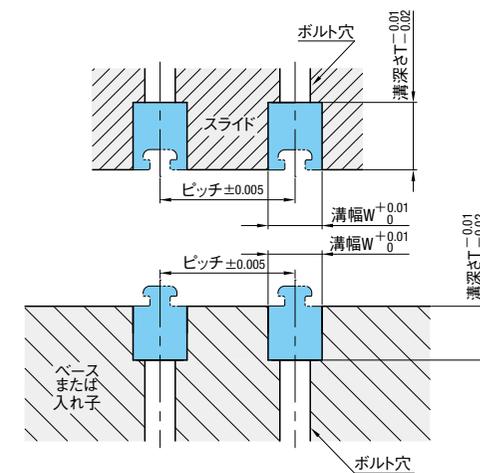


Example 使用例

■レール並列使い

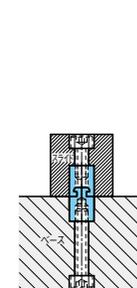
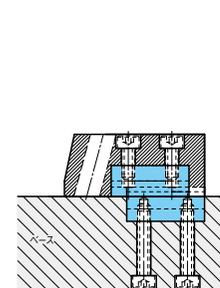


■取り付け溝加工例

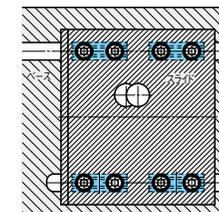
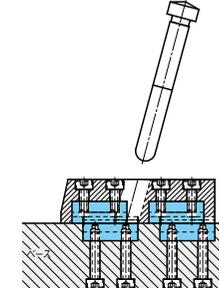


Caution 注意 悪い例

■小型のスライドコアには、センターレールとしてもご利用できます。



■レール直列使いは不可



■使用上の注意

- 焼きつき防止のため、グリス潤滑してください。
- ストロークさせた時の蟻溝部が勤合する際に衝撃が気になる場合は、蟻溝端面の面取りを大きく取ってください。
- ① セット以外の組み合わせでのご使用はできませんのでご注意ください。

ガイドレール・センターレール